

ジョン・ベッチェマン

4 準大尉の恋歌

ミス・J・ハンター・ダン ミス・J・ハンター・ダン
オールダーショット訓練基地の陽を浴びてこんがり日焼けしたハンター・ダン
アフタヌーンティーのあとのテニスの試合
二人だけのシングルの真剣勝負

ラブ・サーティ⁰⁻³⁰ ラブ・フォーティ⁰⁻⁴⁰ ああ 負ける喜び 5
ツバメのスピード 少年のしなやかさ
最高の注意深さと大胆さで あなたの楽勝
ジョーン・ハンター・ダン あなたの魅力に負ける僕

ミス・ジョーン・ハンター・ダン ミス・ジョーン・ハンター・ダン
あなたに負けて 僕は頭に来て 悲しくて 嬉しくて 10
手の温もりの残ったラケットをプレスに戻して試合は終わったけれど
頭髪^{かみ}振り乱して勝ったあなたの気持ちは変わらないはず

おしゃべりに夢中になりながら 夕日に輝くニシキギの脇を歩いて戻り
父君のサマーハウスの扉を開けて
涼しいベランダに出て行って 15
夕方6時のニュースを聞きながら ジンライムで喉を潤す

針葉樹の匂い シャワーの音
部屋から見える苔むした小道
僕は 両端^{ダブル}同形のイブニング・タイをしめるのに悪戦苦闘
勝利の女神と一緒に これからゴルフ・クラブでの舞踏会 20

部屋を覗くと 床にはブレザーと短パンが投げ出されク
リーム色の壁には様々なスポーツ・トロフィー
ミス・ジョーン・ハンター・ダン 低い鉛枠の窓辺に西日が差し込んで
そろそろ時間ですよと 催促ですよ

愛車ヒルマンが外で待つ ホールは煌々^{こうこう}と明るく 25
壁のエジプト絵画もキラキラ光る
恋人よ 僕はオークの階段の脇に立って君を迎える

踊り場に現れた君の髪もキラキラ光る

おもて

表 通りでなく 森の小道を通り

キノコが頭をもたげた松林の中を 常緑の匂いに包まれて

30

晩夏もやの霏もやの中を彼女の運転で

重々しい鐘が 21 時を告げるころ カンバリー・クラブに到着

ミス・ジョーン・ハンター・ダン ミス・ジョーン・ハンター・ダン

すでに始まっているダンスの音楽がこの駐車場まで聞こえてくる

ああ たそがれ黄昏に染まる遠くサリー州の夜空と 急かせるような楽隊と

35

余りにも魅惑的なテニス・プレーヤーの手

まわりにはローバー 少し離れたところにもオースティンと名車がずらり

狭い車の密室の天井

右側には 僕の選んだ女

彼女の 仰向く鼻と漏れる喘あえぎ声

40

スカーフの匂い 無言の二人

舞踏会場に行ったら最後 二度とチャンスは巡って来ない

二人は 真夜中 0 時 40 分まで車の中だった

かくして僕は ミス・ジョーン・ハンター・ダンの婚約者

(山中光義訳)